

文芸・詩集ご担当者様 9月27日発売 新刊のご案内



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

ミャンマー証言詩集 1988-2021

# いくら新芽を摘んでも春は止まらない

よつもとやすひろ

コウコウテッほか著 四元康祐編訳

ISBN978-4-89629-445-3 C0098 A5 判変型並製本／本文 224 頁／定価：2420 円税込

## ミャンマー軍事政権下での詩とエッセイ！

詩人たちは怒りと哀しみ、異議申し立てを訴える。

文字に記された言葉は力強く、ミャンマーの詩人たちの魂は燃え続けている。

■本書の誕生については、詩人・四元康祐が丁寧に語り、ミャンマーの社会情勢、ビルマ文学については、ビルマ文学研究者・南田みどりが詳細に解説した。

■翻訳者は、四元康祐、三宅勇介、大崎清夏、吉川凧、ぱくきょんみ、柏木麻里。

■「朝日新聞 オピニオン&フォーラム」(8月22日朝刊)で四元氏は本書のことを紹介し、早くも話題にのぼっている。

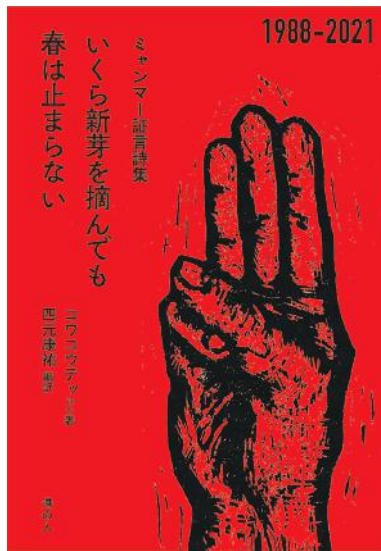
### コウコウテッ

ミャンマー出身の詩人。ミャンマーの詩の英訳を広く手がけるとともに、詩誌メコンリビューの編集者。1997年に学生運動に参加し勾留されたのち、翌年出国。現在まで亡命生活が続く。イギリス在住。

### 四元康祐 よつもとやすひろ

詩人・作家。1959年生まれ。詩集に『嗚みの午後』(第11回萩原朔太郎賞)、『日本語の虜囚』(第4回鮎川信夫賞)ほか。詩文集に『龍に吞まれる、龍を吞む—詩人のヨーロッパ体験』、文芸批評書に『谷川俊太郎学』『詩人たちよ!』。翻訳書に『ホモサピエンス詩集』など。

\*すべての取次からご注文は可能です(JRC経由)。返品条件付き注文扱い



革命の花は咲かない  
空気が、水、大地、  
すべての栄養が揃わなければ。  
革命の花が咲く前に  
一発の銃弾が誰かの脳みそを  
路上にぶちまける。  
その頭蓋骨の叫びが君に聞こえたか?  
ケーザウイン「頭蓋骨」より

詩 28 篇＋エッセイ 12 篇収録

番線印	ご注文数	ミャンマー証言詩集 1988-2021
		いくら新芽を摘んでも春は止まらない ISBN978-4-89629-445-3 定価 2420 円税込
ご担当:	様	冊
		港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比ガ浜 3-11-49 電話：0467-60-1374 FAX：0467-60-1375